

2026年度（R8）事業計画

（2026年1月1日から12月31日まで）

公益財団法人 ダイトロン福祉財団 理事長 高本 敬

《計画の骨子》

[インクルーシブ社会の推進]

2025年度は、多くの団体の取り組みを支援させて頂き、障害のある方々が地域の中で自立し、活躍の場を広げる姿が数多く見られました。こうした成果は、インクルーシブ社会の実現に向けた大きな一歩であると考えております。

2026年度は、その成果をさらに発展させ、障害の有無にかかわらず誰もが安心して暮らし・働き・学ぶことのできる環境づくりを一層推進してまいります。助成事業を通じて団体の挑戦を後押しし、新たなつながりや可能性を広げることをめざします。

当財団のスローガン「真心こめた ふれあいと助け合い」を原点に、障害者施設の支援にとどまらず、障害のある方々の声や希望に耳を傾け、ともに歩む活動をより力強く展開していく所存です。

2026年度（R8）の事業計画骨子

1. 福祉助成金事業

公益充実資金（特定費用準備資金）の積立金（第25回記念特別助成）1,000万円を含め、2026年度の福祉助成金予算を総額14,000万円とする。（前年実績約11,682万円）

2. 助成金贈呈式の開催

9月にピアザ淡海にて「第25回助成金贈呈式」を開催予定。講演や事例発表等を通じて助成金の活用と効果を共有し、財団自身も今後の助成のあり方を学ぶ機会とする。

3. 先進的取り組みへの重点支援

障害者の就労支援や文化・スポーツ振興に取り組む団体のうち、特に以下の先進的な活動を積極的に支援する。

- ・文化・芸術・スポーツの振興、
- ・インクルーシブ教育の推進、
- ・工賃向上支援、
- ・就労選択支援制度推進、
- ・就労支援の拡充

4. 資産運用

引き続き厳しい環境下にあるが、慎重且つ効果的な資産運用を行い、安定的な財源確保に努める。

5. システム化推進

一昨年より進めている助成申請業務のシステム化を継続し、効率性と利便性の向上を図る。

6. 現場との対話・検証

助成先や福祉関係機関を訪問し、助成事業の効果を検証すると共に、現場の声を取り入れ、今後の助成事業の改善に活かす。

《助成事業計画の内容 - 14,000万円の募集を実施する》

1. 第1号事業：障害福祉サービス事業所等に対する助成

- ・対象：滋賀県内の障害福祉サービス事業所等
- ・内容：設備整備および物品購入などの資金を助成
- ・金額：1件150万円以内、総額9,500万円以内
- ・助成率：総事業費の80%以内

2. 第2号助成：社会参加の促進と生活向上等に寄与する調査研究の為の助成

- ・対象：滋賀県内の障害福祉サービス事業所および社会福祉法人、公益法人等
- ・金額：総額500万円以内

3. 第3号助成：特別助成事業

- ・対象：1及び2号事業に含まれない、または枠を超える先進的事業
- ・内容：障害者福祉に寄与する施設・団体への特別助成
- ・金額：総額4,000万円以内

【選考と交付流れ】

- ・ 2月 : 募集要項の周知
- ・ 3月2日 : 応募開始
- ・ 4月10日 : 応募締め切り
- ・ 5月12日 : 助成選考 事前協議会による情報交換
- ・ 6月2日 : 選考委員会による審査
16日 : 理事会で最終決定
- ・ 9月1日 : 第25回助成金贈呈式にて交付

広報活動事業：第4号事業

- ・ ウェブサイトの充実
法人情報の公開、助成金募集情報、寄附募集、活動報告等を掲載し、周知を強化する。
- ・ 行政や福祉関係団体との情報交換
行政や各福祉関係団体との連携を密にし、障害者福祉の充実に資する。
- ・ 年刊紙「ダイトロン福祉だより」の発行（1,500部）
助成活用事例や寄附者名簿等を掲載し、広く配布する。
- ・ 賛助会員・寄附募集活動の推進
郵送・ウェブ・メールを活用し、賛助会員の拡大および寄附金の募集を行う。
- ・ 他福祉団体へのPR活動
機関誌への広告掲載、関係資料への同封などを通じて、当財団の助成活動を広く周知し、認知度向上を図る。

◆助成金の計画と実績

(単位：千円)

事業名	2024年度実績	2025年度計画	2025年度実績	2026年度計画	前年実績との比較
第1号事業	68,661	65,000	85,267	95,000	+9,733
第2号事業	0	5,000	1,623	5,000	+3,377
第3号事業	36,187	30,000	29,938	40,000	+62
合計	104,848	100,000	116,828	140,000	+23,172

以上